

特色ある私学経営につき現地見学会

日時
見学先
内容

【東日本地区】昭和女子大学 定員40名

2022年10月21日(金) 12時45分 学園本部館3階 大会議室集合

学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針のご説明、
質疑応答の後、施設見学、16時頃現地にて解散予定

所在地 東京都世田谷区太子堂1-7-57 (TEL. 03-3411-5123)

〔東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車、徒歩7分〕

● 1法人につき2名様までとさせていただきます。

学園のご紹介

昭和女子大学の歴史は、大正9(1920)年に始まります。斬新華麗な詩風を以って知られた詩人である人見圓吉は、トルストイが理想とした“愛と理解と調和”に教育の理想を見出し、緑夫人とともに女子教育の道を歩み始めました。

折しも第一次世界大戦終結の年に当たり、4千万人の人々が大战の影響を受けて、不幸な状況に遭遇していました。創立者の平和への願いが、自己の進路を見失わない女性、すすんで世のため人のために自己の力を役立てようとする女性を育てたいという信念となり、本学の前身「日本女子高等学院」を創立しました。現在は、こども園から大学院までを1キャンパスに配置する教育機関に成長しています。

新型コロナウイルス感染症パンデミック下、学園は2020年創立100周年を迎え、2020年11月9日記念式典を挙行了しました。理事長・総長 坂東真理子の下、建学の精神は受け継がれ、日本や世界の未来を担う人材を育成するために新たな100年に向けて歩み始めました。

グローバル人材の育成は学園の大きな強みです。1988年4月にアメリカ・マサチューセッツ州に海外キャンパス「昭和ボストン」を設置し、世田谷キャンパスでは2006年9月開校のブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和(BST)に続き2018年11月に駒澤パークインターナショナルスクール(KPIS)も学園の仲間入りをしました。2019年8月敷地内に移転してきたテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)との連携も開始しています。

大学・大学院は、現在の社会課題に取り組む人材を育成する先駆的な教育を目指しています。私大の入学定員管理の厳格化、東京23区内の定員増の抑制などの中、学部・学科を再編、データサイエンス科目導入、海外とのダブル・ディグリー・プログラム協定大学拡充※1など常に時代のニーズを捉え教育環境を整えてきました。2022年5月、TUJとのダブル・ディグリー・プログラムで、1期生4名がTUJを卒業したことが最近の話題です。また、実就職率も2021年で11年連続全国女子大学No.1※2を達成しました。大学院は、人生の長期化を見据え、2021年4月に社会人のリスキリングの場として1年制コースを開講しました。

今後も学園を取り巻く環境は更に変化します。低い出生率・少子化による入学対象人口の減少と女子校・女子大志向の低迷下の中にあっても優秀な入学者を確保し、更にボーダレス化する国際社会の中で新しい時代のリーダーとして活躍できる人材を育成します。また、社会人に対しては、一般的な教養を身につけるリカレント教育に留まらず高度な実務スキル、マネジメント力を取得できる教育の場を提供します。

学園の永続的な発展のために私たちは歩み続け、女子大学としての独自性を確立し、卓越した教育機関を目指します。

※1 ダブル・ディグリー延べ取得者数61名 ※2 卒業生1,000名以上の大学(大学通信調べ)

